



# イーハトーブ

6月10日号

世界各地で武力紛争や緊張が続き、エネルギーや食料にも影響している。ウクライナではロシアの侵攻が続く中、ウクライナ・ロシア・アメリカの協議なども行われているものの、根本的な解決にはまだ遠く、停戦合意には至っていない。中東では紛争が長期化し、国連機関や世界食糧計画が「記録的な飢餓の危険」を警告するほど、人道危機が深刻化している。ガザなどでは多くの子どもが犠牲となっており、国際社会の対応が問われている。これらの紛争は、エネルギー価格や穀物価格にも影響し、世界各地の物価や生活コストを押し上げる要因になっている。それと並行して世界全体では、インフレと景気減速が同時に起きる「スタグフレーション」的な不安が続き、中央銀行の金利政策が難しくなっている。その一方で、一部の超大型業や富裕層には資金が集中し、巨大テック企業のトップが「資産一兆ドル規模」に近づくとような極端な富の集中も話題になっている。こうした格差の拡大は、各国でポピュリズムや分断を生みやすくし、政治の不安定さにもつながっている。

戦争で最も犠牲となるのが労働者であり、最も貧しくなるのが労働者である。そして戦争による利益は決して労働者に還元されることはない。今、遠い世界の出来事が、自らの生活に現実として現れている。戦争は誰が何のために起こし、誰が富を得て誰が犠牲になるのか。しっかり本質を見極めよう。そして行動しよう！

(Y・N)

## イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちも外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという想いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行います。